

学校図書館支援センター通信 NO.86 2月号

平成26年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

第3回学校図書館研修会・ネットワーク会議



1月20日（火）グリーンスタジオにて、今年度の研究のまとめとして、研究協力校の塩焼小学校から、実践が報告されました。市川市では、学校図書館活用と同様に学校新聞及び新聞活用が昭和30年代から行われております。塩焼小学校では、図書と並行して新聞活用を積極的に取り入れた実践を行っております。学校図書館の学習センター、情報センターとしての機能を高めていく上で、図書と同じ文字情報を持つ新聞の活用は、子どもたちの情報処理能力向上に役立つアイテムの一つです。

塩焼小学校実践発表及び研究協力校（第七中学校・新井小学校・塩焼小学校）の実践について

塩焼小学校 研究主任の石川先生から、学校図書館活用との関連を踏まえた「文字・情報に親しむ新聞教育の検証～はがき新聞活用と低学年から取り組めるスクラップの実践～」についての提案が行われました。新聞活用には、新聞を読んで「情報を受信」する作業と、自分たちで新聞を作って「情報を発信」する作業の両面があります。この2つの作業を行う中で子どもたちは、自ら課題を見つけて、情報を収集したり整理したりしてまとめ、自分の考えとして発信する力を身に付けていきます。これは、探究型の学習形態にあてはまる活動であり、「生きる力」の育成に繋がるものであると言えます。塩焼小学校の「はがき新聞」の実践は、学年に関わらず、誰でも取り組める素材だと思えます。幼稚園の先生方からも「とても勉強になった」という声がありました。図書の情報だけに留まらず、新聞やインターネットからも多くの有益な情報を積極的に取り入れて、子どもたちの情報処理能力を高め、グローバル社会を生き抜く力を養っていただきたいと思います。第七中学校・新井小学校・塩焼小学校の実践は、教育センター発行の研究紀要にまとめて、来年度始めに各学校に配付いたします。自校でも取り入れられる実践が掲載されておりますので、積極的にご活用ください。



学校図書館法の一部が改正され、平成27年4月1日より、「学校司書」という文言が正式に掲載され、配置が推進されるようになります。市川市においては、学校司書・学校図書館員が全校に配置されておりますので、特にかわることはありませんが、授業に携わる全ての方々が、今まで以上に計画的・積極的な学校図書館の利活用を推進して下さることを願っております。

教育委員会では、これからも学校図書館支援センターを中心として、子どもたちの学びを支える先生方の指導技術の向上を支援して行きます。

また、市川市の公共図書館も学校教育を全面的にサポートをして下さいます。今年は、出張お話会の依頼も増え、多くの幼稚園や学校に図書と一緒に足を運んで、子どもたちの読書活動を広げて下さいました。学校図書館では解決できないことがありましたら、こどもとじょかんの司書に相談してください。きっと最適なアドバイスがいただけると思います。

県立津田沼高等学校 篠田耕一先生による「落語」の授業

菅野小学校（1/20）と二俣小学校（1/23）で、県立津田沼高校国語科の篠田耕一先生をお招きして「落語」の授業を行いました。これは、千葉県教育委員会が行っている「小・中・高連携の特別授業」の取り組みの一環で、千葉県教育委員会のホームページに登録されている先生に依頼して授業を行っていただくシステムを活用したものです。

篠田先生は、着物姿で登場し、「落語」を披露して下さるだけでなく、子どもたちにも問いかけながら対話形式で授業を進めて下さいました。子どもたちが、高座に上がって覚えてたの小噺を披露する場面もあり、「落語」を楽しく体験しながら学ぶことができました。

教科書や図書を通して学習したことを実際に体験することで、子どもたちの「落語」への理解が更に深まり、市川市内の小学校から多くの落語家が誕生するのではないのでしょうか。篠田先生の落語の授業は、国府台小学校でも行われるそうです。



図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～

国分小学校では毎年1月から2月にかけて図書の時間に全校で百人一首かるたに親しんでます。

低学年は五色百人一首かるたを使用し、色別や混合色対抗戦を行います。高学年になると小倉百人一首かるたを並べ、本格的な取り組みを行います。この時期は百人一首に関する本の貸し出しも増加し、児童が興味を持って百人一首に親しむ様子がうかがえます。



また年間を通して図書の時間を利用してのテーマに沿った調べ学習やまとめ、発表の場として積極的に授業活用されることが多く、読書の幅を広げる場としてだけではなく学習センターとして有効利用され、日々図書館の中は活気にあふれています。



市川市立国分小学校 学校図書館員 井垣 葉子

お知らせ

学校図書館を活用した授業の際に、有効な資料をご紹介します。

- ① 言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版・中学校版・高等学校版】（文部科学省HP）
文部科学省では、生きる力をはぐくみ基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養い言語活動を充実させるための指導事例集をホームページに掲載しています。学校種、教科ごとの事例が紹介されております。
- ② 歴史博物館発行 小学校副読本「わたしたちの市川」補助資料の活用について
副読本「わたしたちの市川」の補助資料として、現在41項目のPDFデータがC4t h 書庫にあります。とても詳しい資料ですので、学校図書館でも郷土資料の一つとしてぜひご活用ください。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

